

取組名称	SDGsライフスタイルを広めるイベント「ロハスフェスタ」の開催		団体設立後の経過年数	14年
応募取組主体名称	ロハスフェスタ実行委員会	活動地域	大阪府中心に活動	応募取組の活動年数 17年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他			
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとつくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞			



取組の要旨
2006年に始まったロハスフェスタは「みんなの小さなエコを大きなコエに」を合言葉に、健康と環境を大切にするライフスタイルイベントです。ナチュラルな衣食住関連グッズを集め、手作り体験や自然体験なども提供しています。これらを通じてサステナブルファッション（アップサイクルやフェアトレードなど）、フードロス削減、資源循環、気候変動対策など、SDGsの啓発と行動を促進しています。また、出展者の約75%が女性で、女性のいきがいや複業・起業にもつながっています。
実績の要旨
●来場者数：約2万人/1日、約40万人/年 ●出展者数：約1,000店（万博記念公園会場） ●アップサイクル、フードロス、フェアトレード等、サステナブル関連の出展者数は約40% ●来場者のマイ食器類持参率：約80% ●ごみ排出量：約15g/1人・1日（一般的イベントの1割程度） ●使用済みてんぷら油回収量：累計17,743L（てんぷら油から発電し会場内の電力に使用） ●牛乳パック回収量：累計5,988kg（トイレトペーパーに再生、会場内で使用） ●SDGsを学ぶクイズラリー参加者：約3,300人（9日間開催）

取組評価の要旨	環境への貢献	衣（アップサイクル等）、食（リユース食器・フードロス）、住（リサイクル等）の他、資源循環を体験できる場を提供。
	社会・経済への貢献	万博会場出展者の55%、来場者の95%は近畿圏居住者であり、地域循環共生圏を形成しています。
	地域資源の活用	各開催公園の自然を活かした生物多様性やネイチャー・ポジティブに関する体験ワークショップなどを実施しています。
	普及・汎用性	出展作家が約1万、年平均来場者40万人（累計約380万人）おり、それぞれが自発的にSNSで情報拡散してくださっています。
	革新・ユニーク性	SDGs目標達成につながる貢献的行動のみならず、そこに「作品性」や「楽しさ」を加え、多くの人の参加を目指しています。
	継続性	出展者、協力団体、後援団体、来場者、協賛社、地元団体などステークホルダーと連携しSDGsライフスタイル可視化を共創。

展望の要旨	都市型SDGsプラットフォームとして、脱炭素・資源循環・自然再興行動を促し、環境・社会・経済課題の同時解決を目指します。
-------	--